

レスポンシブル・ケア (RC) とは

レスポンシブル・ケア (RC) とは、化学物質を製造または取扱う事業者が自主管理活動によって、製品の全ライフサイクルにわたり「環境・安全・健康」を確保する活動のことです。具体的には、事業者が自己決定・自己責任の原則に基づいて製品の開発から製造、物流、使用を通じ廃棄処分に至るすべての過程において環境保全・安全を確保することを経営方針において誓約し、対策の実施、改善を図ることを主旨とした活動で、世界各国で取組まれています。

日本では、(社)日本化学工業協会(日化協)が中心となり、1995年に「日本レスポンシブル・ケア協議会(JRCC)」が設立されました。富士フィルムは、レスポンシブル・ケア実施を宣言し、JRCCの会員となりました。美しい自然と貴重な資源確保のためレスポンシブル・ケア活動に真摯に取り組んでいます。

レスポンシブル・ケア(RC)とISO14001の関係

富士フィルムの環境施策への取組みの基本的な考え方は「ISO14001によるマネジメントシステムの整備・運用を通じて、レスポンシブル・ケアを実現する」ということです。法の順守はもちろん、それ以上に厳しい目標を、自らのポリシーのもとに設定し、

自主的な取組みで実現していこうとしています。ISO14001をRC施策推進のためのマネジメント手段として有効に活用し、PDCAサイクルを繰り返すことで、継続的改善を目指しています。

富士フィルム レスポンシブル・ケアの進め方

